

令和3年度  
第2回 恵庭市公営企業経営審議会

- ・ 令和2年度 公営企業会計決算について

令和3年11月9日  
恵庭市水道部経営管理課



# 目次

1. 公営企業会計について . . . . . 1ページ
2. 令和2年度水道事業決算状況 . . . . . 5ページ
3. 令和2年度下水道事業決算状況 . . . . . 17ページ

# 1 公営企業会計について

## 【地方公営企業とは】

- ・ 地方公共団体が、**住民の福祉の増進**を目的として設置し、経営する企業。
- ・ 企業としての**経済性**を発揮する必要があるため、一般の官公庁会計と異なった企業会計という経理方式によって財政状況がとらえられている。
- ・ 恵庭市では水道事業と下水道事業の**2事業**が該当。
- ・ 主に「水道料金」と「下水道使用料」の料金収入で経費をまかなっている。

# 1 公営企業会計について

## 【公営企業会計と官公庁会計の違い】

### ①現金主義ではなく、**発生主義**である

現金の収支にかかわらず経済活動の発生事実に基づき整理される。（複式簿記採用）

### ②**期間計算**（費用配分）の考え方がある

その年度の収益の獲得につながったと考えられる部分だけがその年度の費用として整理される。

### ③**損益計算**と**資本取引**の区分がある

1年間の経営成績を表す収益的収支、施設の建設・改良等の事業費とその財源を表す資本的収支の2つの収支がある。

### ④**資産、負債及び資本**の概念がある

「資産」は資金の運用形態を示し、「負債及び資本」は資金の調達方法等を示す。※資産 = 負債 + 資本

### ⑤**予算**及び**決算**の双方を重視する

歳出の規制だけでなく、経済性の発揮が求められている。

# 1 公営企業会計について

## 【収益的収支と資本的収支】

### ■収益的収支（3条）

1年間の企業活動に伴い発生する収益と費用を表したもの

- 施設の維持管理、事業を運営するための費用とその財源
- 当年度の収益と費用を表す

### ■資本的収支（4条）

施設の建設など支出の効果が翌年度以降に及ぶものや、企業債の元金償還などの支出とその財源となる収入を表したもの

- 施設を建設・整備するための支出と企業債の借入などの財源
- 翌年度の収益的収支に影響

○公営企業においては、資本的収支の収入が支出に対し不足するため、収益的収支からの利益や損益勘定留保資金※1（減価償却費※2等）で補てん（穴埋め）することが一般的

※1 損益勘定留保資金：現金支出を伴わない費用によって企業内に残る資金

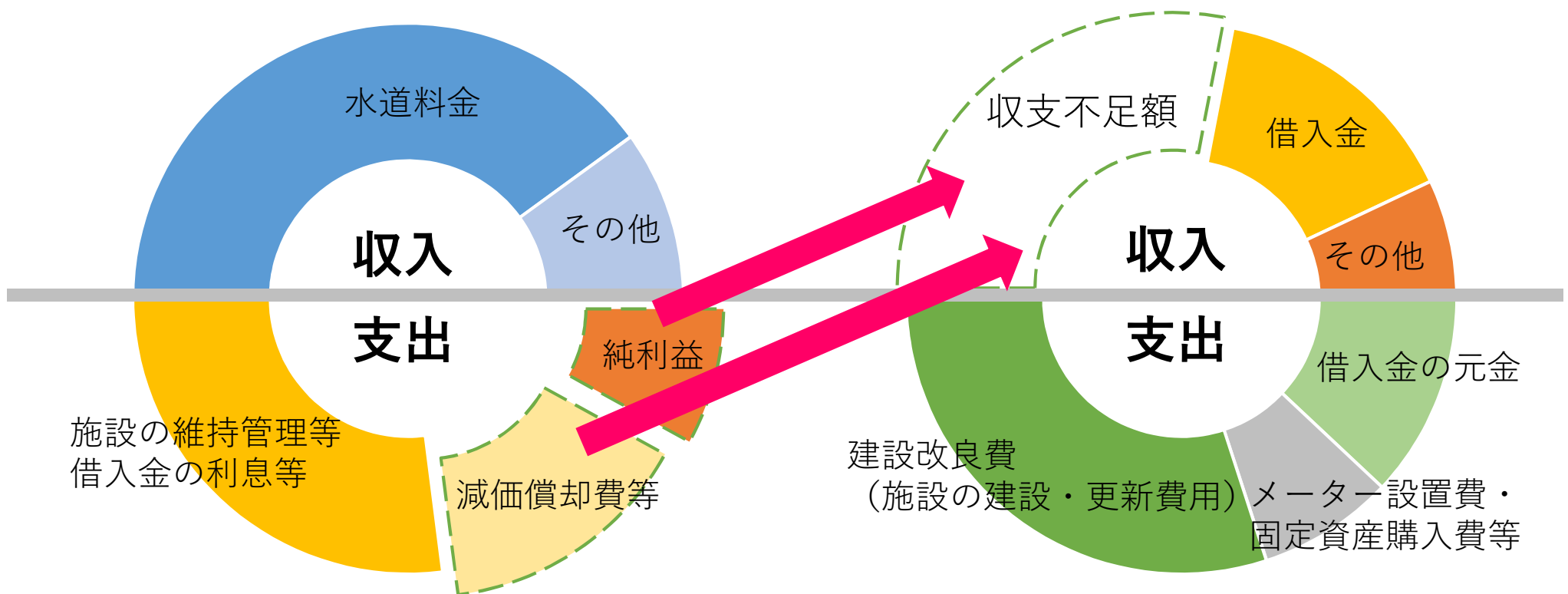
※2 減価償却費：固定資産の経年的な価値の減少を毎事業年度の費用として計上するもの

# 1 公営企業会計について

## 【収益的収支と資本的収支の関係】

### 収益的収支（3条予算）

### 資本的収支（4条予算）



## 2 令和2年度水道事業決算状況（予算対比）

### 【収入支出の概要】

#### ■収益的収支（3条）

（単位：千円）

	令和2年度予算(a)	令和2年度決算(b)	増減	増減率	令和元年度決算(c)	増減(b-c)
収益的収入(A) 税抜	1,558,906	1,566,380	7,474	0.5%	1,547,784	18,596
(税込)	(1,701,275)	(1,709,891)	(8,616)	(0.5%)	(1,670,417)	(39,474)
収益的支出(B) 税抜	1,427,607	1,397,806	29,801	2.1%	1,411,877	△14,071
(税込)	(1,518,137)	(1,485,337)	(32,800)	(2.2%)	(1,501,752)	(△16,415)
純利益(A-B) 税抜	131,299	168,574	37,275	28.4%	135,907	32,667

#### 主な増減理由（消費税抜き）

- ・収入 給水収益の増加（家事用給水収益の増）（15,682千円）  
その他営業収益の減少（設計審査手数料の減）（△4,066千円）
- ・支出 施設維持管理費の減少（修繕費、委託料）（△13,326千円）

#### ■資本的収支（4条）

（単位：千円、消費税込み）

	令和2年度予算(a)	令和2年度決算(b)	増減	増減率	令和元年度決算(c)	増減(b-c)
資本的収入(A)	160,900	160,900	0	0%	153,900	7,000
資本的支出(B)	832,028	794,641	37,387	4.5%	576,925	217,716
収支不足(A-B)	△671,128	△633,741	37,387	△5.6%	△423,025	△210,716

#### 主な増減理由（消費税込み）

- ・支出 建設改良費の減少（基線跨線橋工事一部延期による工事請負費の減）（△19,949千円）  
メーター設置費の減少（△11,132千円）



# 2 令和2年度水道事業決算状況（主な概況）

## 令和2年度決算「建設改良費等」の特徴

1 令和2年度 建設改良費（前年対比と主な増減） 530,021千円（前年比 +196,943千円）

								(千円)
①配水管布設工事 φ50～φ150 L=999.1m	36,442	(R1:5,218)	(R1繰越)	1件（1路線）	新設分	φ50	287.4m	9,350
			(R2現年)	6件（10路線）	新設分	φ50-φ150	711.7m	27,092
②配水管布設替工事 φ50～φ200 L=8,019.2m	406,309	(R1:254,458)	(R1繰越)	2件（3路線）		φ50-φ100	1,336.7m	57,849
			(R2現年)	12件（31路線）	[内、ゼロ市債：2件]	φ50-φ200	6,682.5m	348,460
③その他工事	17,831	(R1:5,648)	6件：柏陽地区舗装復旧工事 他					17,831
④受託工事	11,825	(R1:11,627)	消火栓更新整備工事			消火栓	20基	11,825
⑤メーター取替工事	57,614	(R1:56,127)	φ13 3,892件、φ20 385件 他 合計 4,360件					57,614

2 令和2年度 水道事業受贈財産 930千円

						(千円)
ハイムタウン恵庭市桜町1丁目住宅開発事業	移管元	北海道セキスイハイム株式会社	配水管 PEP φ50	84.3m		930

3 令和2年度 給水工事設計審査申請・検定収益状況 18,453千円

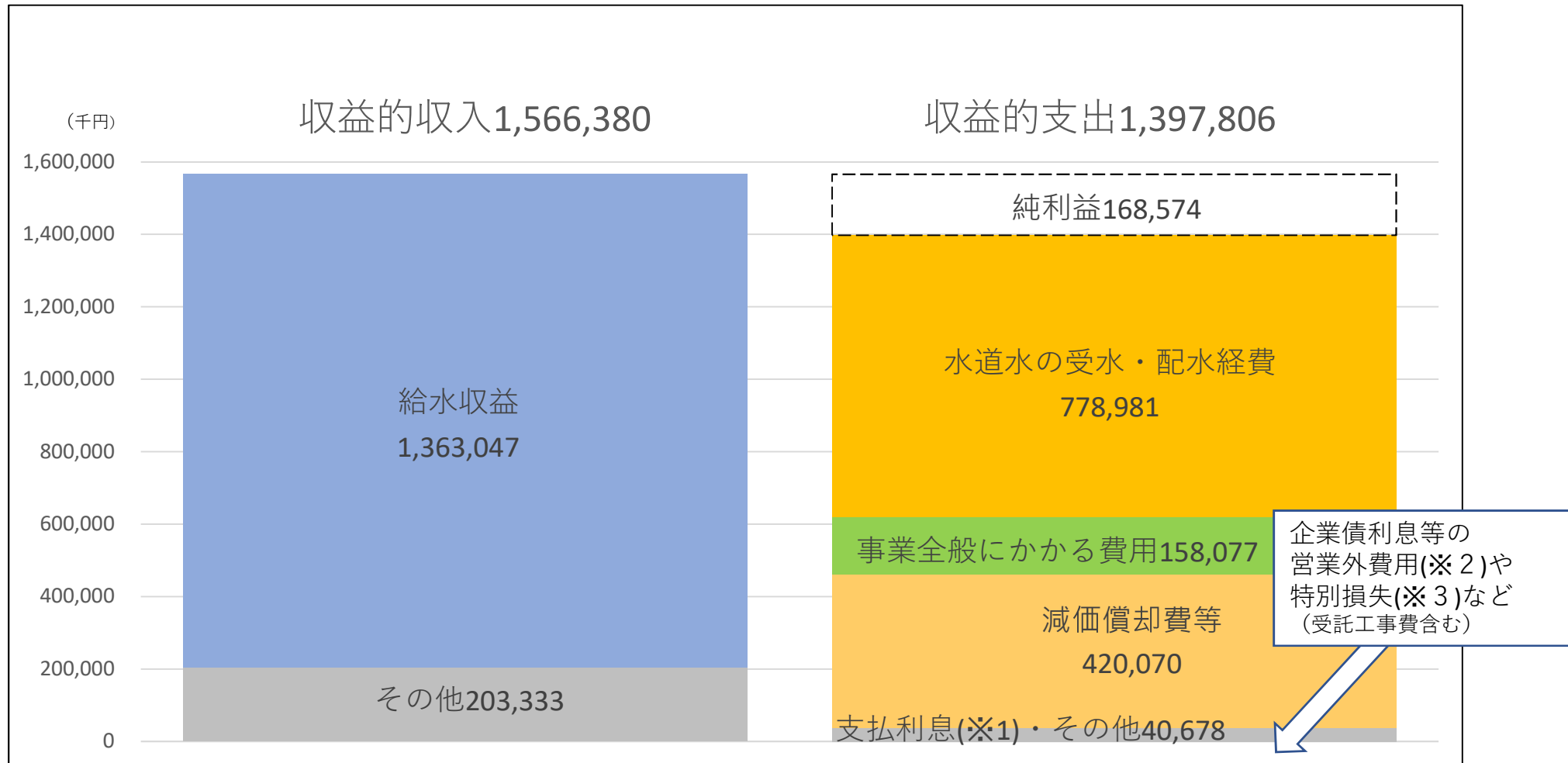
（単位：円）

区分	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
新設	337	16,710,400	349	18,731,900	336	18,385,800
改造	23	519,500	32	868,600	31	789,200
その他	140	1,223,300	142	1,564,100	148	3,108,200
計	500	18,453,200	523	21,164,600	515	22,283,200

# 2 令和2年度水道事業決算状況（決算の姿）

## ■収益的収支（消費税抜き）

参照：18～19ページ



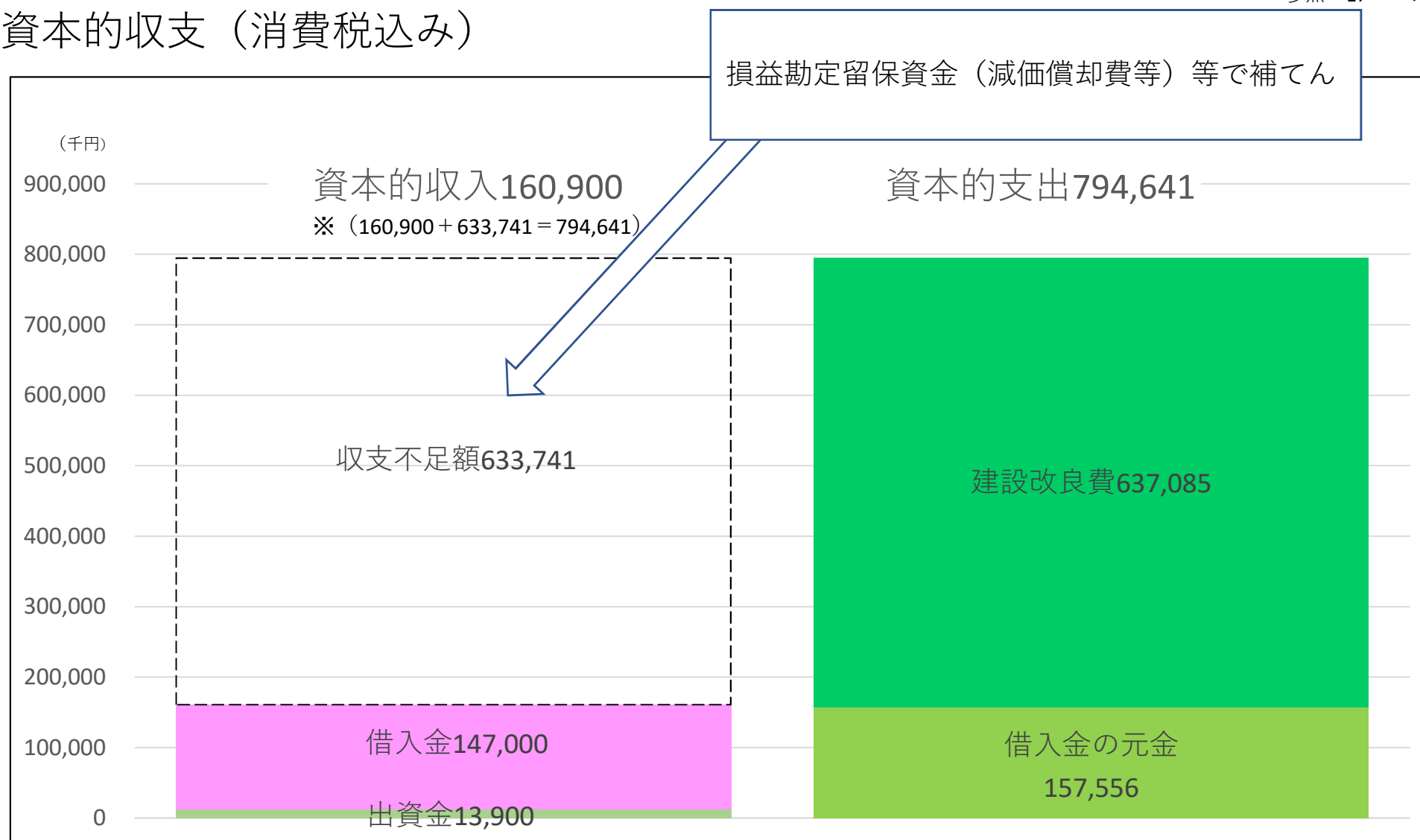
企業債利息等の  
営業外費用(※2)や  
特別損失(※3)など  
(受託工事費含む)

- ※1 支払利息：借入金（企業債）に対する利息
- ※2 営業外費用：水道事業の主たる営業活動以外から生じる費用
- ※3 特別損失：当期の費用に計上することが不適当な費用（臨時的な費用や過年度分の水道料金還付金など）

## 2 令和2年度水道事業決算状況（決算の姿）

参照：17ページ

### ■ 資本的収支（消費税込み）

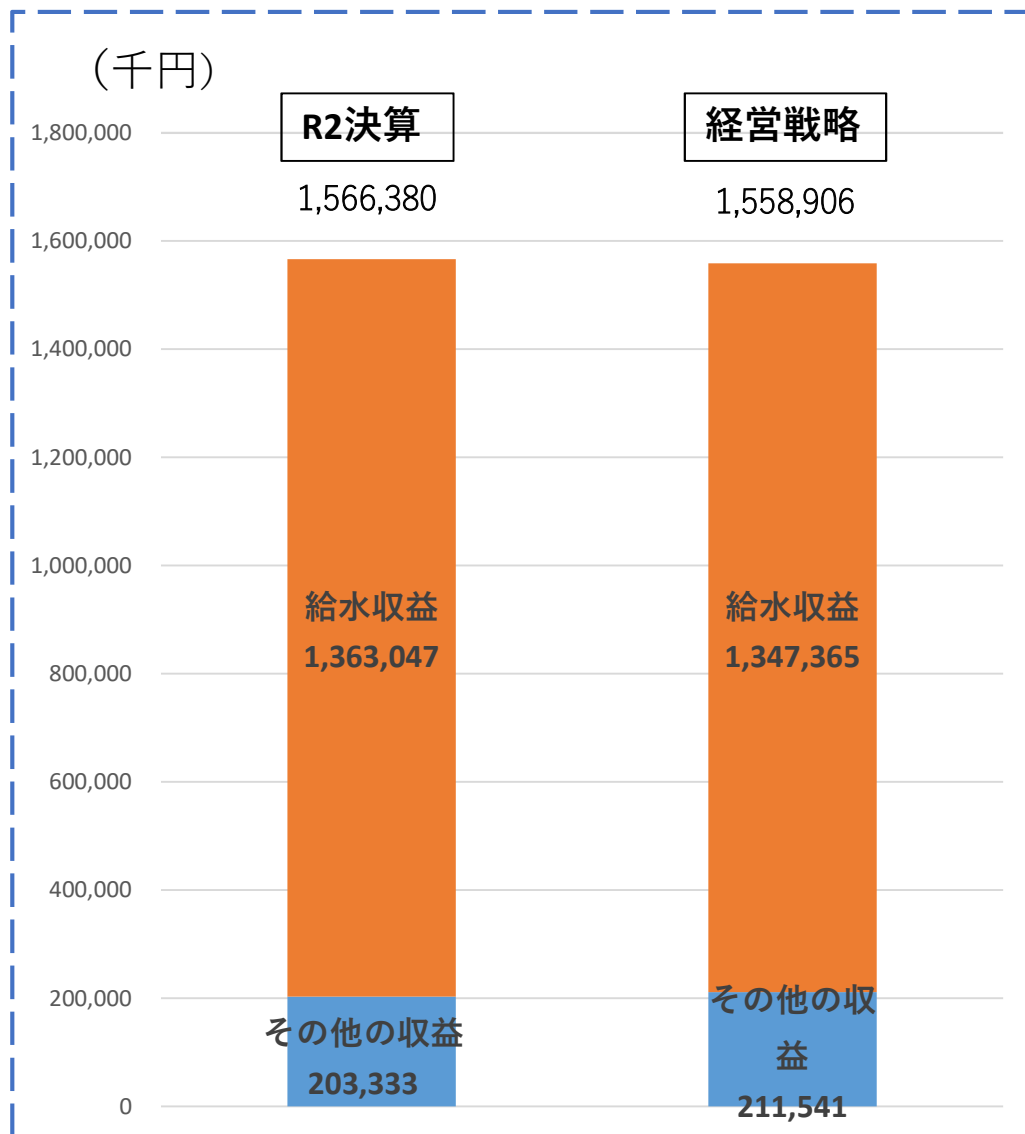


出資金：一般会計又は他会計から特別に出資されたもの

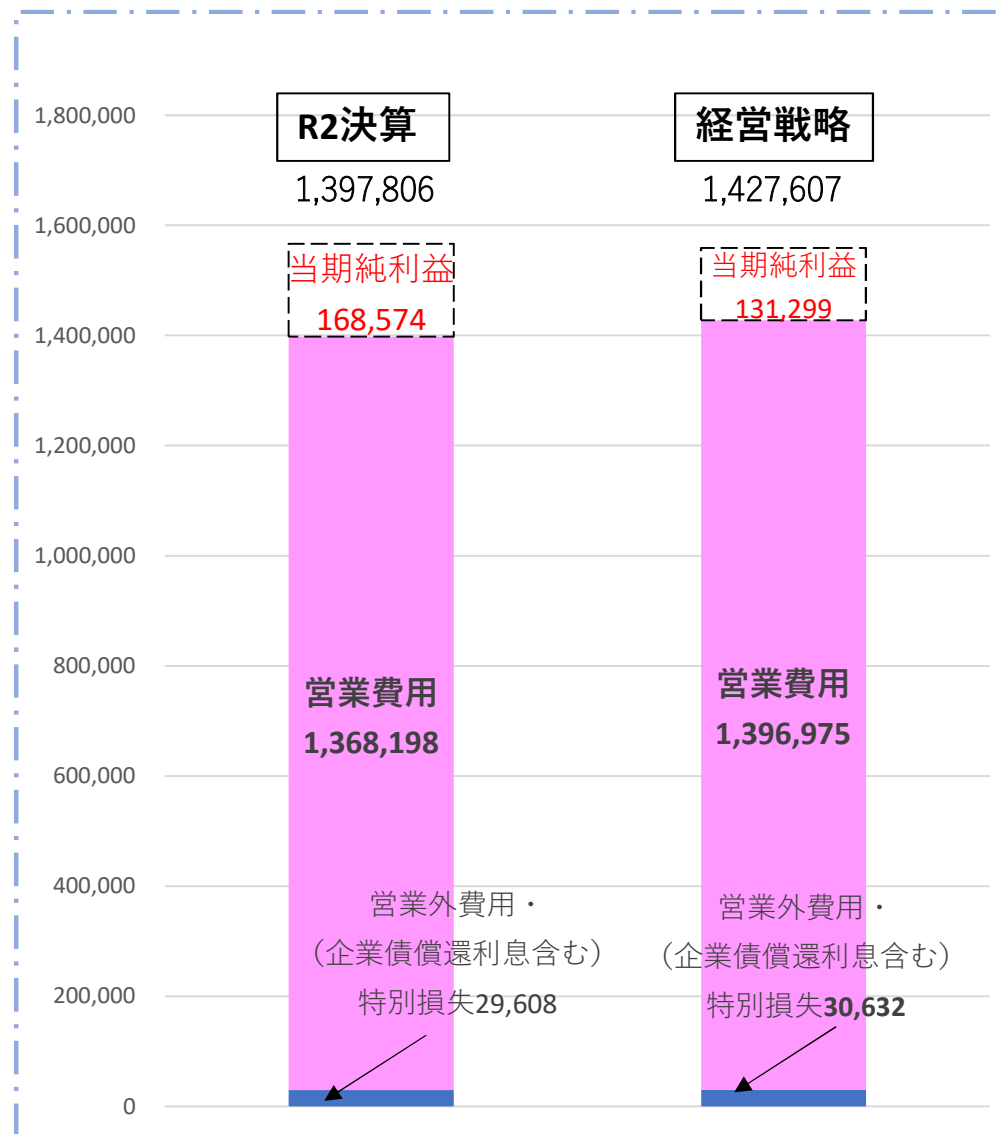
# 2 令和2年度水道事業決算状況（経営戦略対比）

■ 収益的収支（消費税抜き）

## 収益的収入



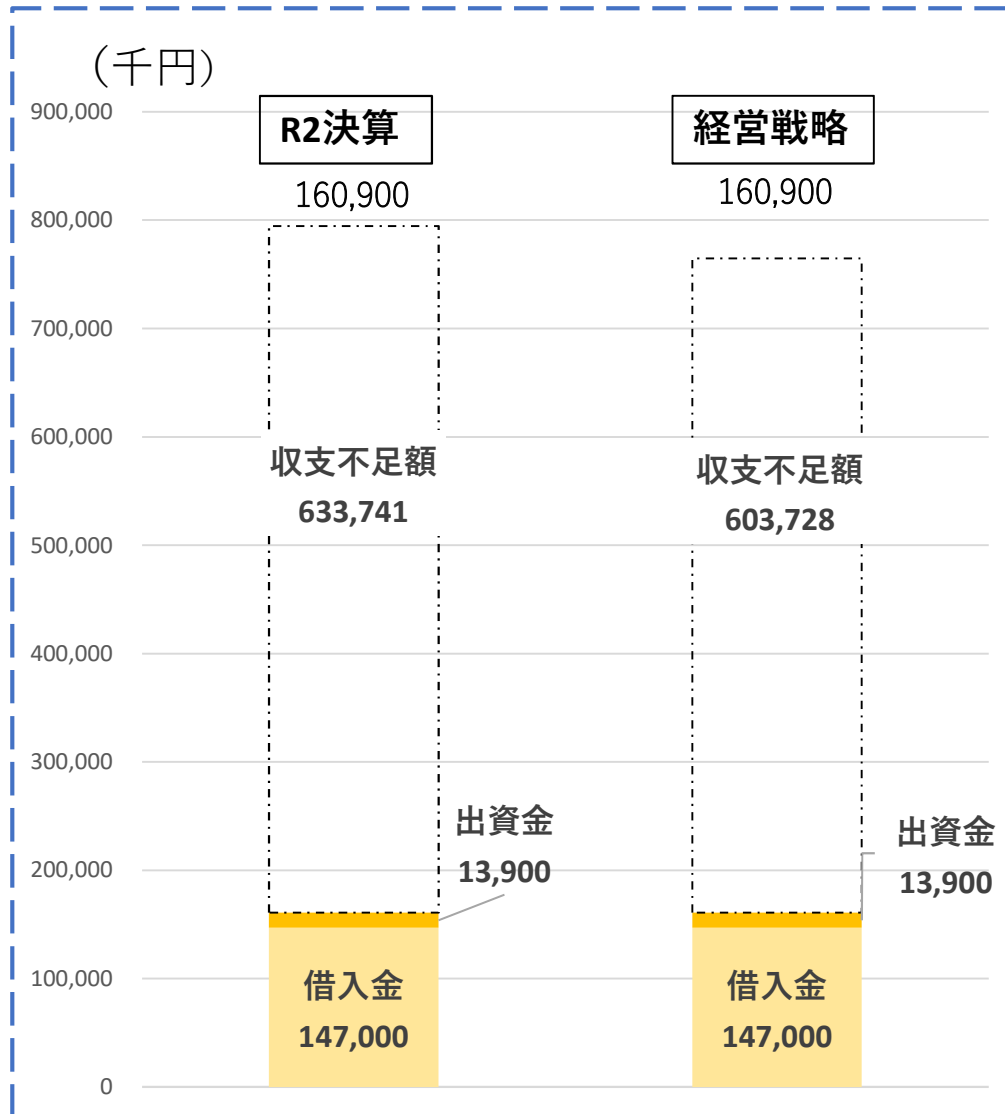
## 収益的支出



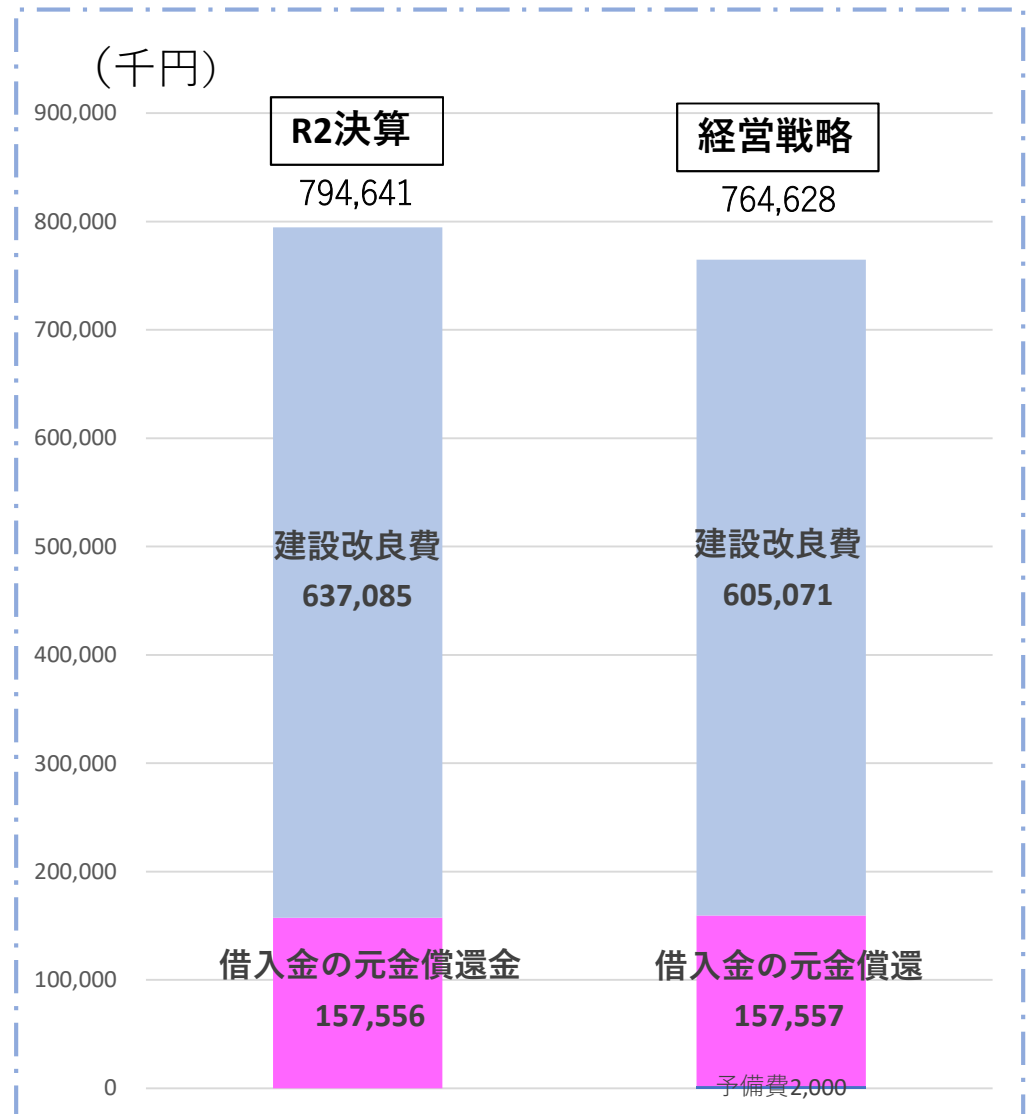
# 2 令和2年度水道事業決算状況（経営戦略対比）

## ■ 資本的収支（消費税込み）

### 資本的収入



### 資本的支出



# ① 予算決算比較表（税込み）

## 1 収益的収支

（収益的収入）

（単位：円・％）

（消費税込み）

科目	令和2年度				令和元年度	比較増減 (B-C)
	予算現額(A)	決算額(B)	執行率	比較増減 (B-A)	決算額(C)	
1. 営業収益	1,631,109,000	1,641,152,291	100.6	10,043,291	1,599,798,531	41,353,760
（1）給水収益	1,482,101,000	1,499,284,954	101.2	17,183,954	1,473,589,224	25,695,730
（2）受託事業収益	57,296,000	56,719,542	99.0	△ 576,458	55,557,238	1,162,304
（3）その他営業収益	91,712,000	85,147,795	92.8	△ 6,564,205	70,652,069	14,495,726
2. 営業外収益	70,166,000	68,730,639	98.0	△ 1,435,361	70,584,045	△ 1,853,406
（1）受取利息及び 配当金	190,000	216,097	113.7	26,097	357,781	△ 141,684
（2）他会計負担金	2,456,000	2,560,000	104.2	104,000	2,216,000	344,000
（3）長期前受金戻入	64,911,000	64,908,480	100.0	△ 2,520	65,240,205	△ 331,725
（4）雑収益	2,609,000	1,046,062	40.1	△ 1,562,938	2,770,059	△ 1,723,997
3. 特別利益	0	7,579	—	7,579	34,060	△ 26,481
（1）過年度損益 修正益	0	7,579	—	7,579	34,060	△ 26,481
合計	1,701,275,000	1,709,890,509	100.5	8,615,509	1,670,416,636	39,473,873

■主な増減の要因（予算対比）	
1. 営業収益	（予算比10,043千円）
（1）給水収益	家事用給水収益の増（予算比17,184千円）
（3）その他営業収益	設計審査手数料の減（予算比△4,066千円）
2. 営業外収益	（予算比△1,435千円）
（5）雑収益	廃棄分解メーター売却代の皆減（予算比△2,325千円）

(収益的支出)

(単位：円・%)

(消費税込み)

科目	令和2年度				令和元年度	比較増減 (B-C)
	予算現額(A)	決算額(B)	執行率	比較増減 (A-B)	決算額(C)	
1. 営業費用	1,481,929,000	1,451,521,501	97.9	30,407,499	1,453,896,890	△ 2,375,389
(1) 受水費	745,762,892	745,762,892	100.0	0	739,605,622	6,157,270
(2) 配水及び給水費	123,721,000	105,184,306	85.0	18,536,694	109,788,465	△ 4,604,159
(3) 受託工事費	12,727,000	12,177,000	95.7	550,000	11,627,000	550,000
(4) 総係費	171,226,108	168,327,501	98.3	2,898,607	178,224,683	△ 9,897,182
(5) 減価償却費	393,253,000	383,726,970	97.6	9,526,030	383,169,313	557,657
(6) 資産減耗費	35,239,000	36,342,832	103.1	△ 1,103,832	31,481,807	4,861,025
2. 営業外費用	33,208,000	33,217,322	100.0	△ 9,322	47,164,095	△ 13,946,773
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	28,906,200	28,530,116	98.7	376,084	33,187,795	△ 4,657,679
(2) 消費税及び 地方消費税	4,201,800	4,201,800	100.0	0	13,976,300	△ 9,774,500
(3) 雑支出	100,000	485,406	485.4	△ 385,406	0	485,406
3. 特別損失	1,000,000	598,305	59.8	401,695	690,764	△ 92,459
(1) 過年度損益 修正損	1,000,000	598,305	59.8	401,695	690,764	△ 92,459
4. 予備費	2,000,000	0	0.0	2,000,000	0	0
(1) 予備費	2,000,000	0	0.0	2,000,000	0	0
合計	1,518,137,000	1,485,337,128	97.8	32,799,872	1,501,751,749	△ 16,414,621

## ■主な増減の要因（予算対比）

1. 営業費用	(予算比30,407千円)
(2) 配水及び給水費	漏水等修繕工事(予算比9,226千円)、 委託料(予算比5,095千円)の減
(4) 総係費	人件費(予算比1,114千円)執行残 委託料(予算比430千円)の減

2 資本的収支

(資本的収入)

(単位：円・%)

(消費税込み)

科目	令和2年度				令和元年度	比較増減 (B-C)
	予算現額(A)	決算額(B)	執行率	比較増減 (B-A)	決算額(C)	
1. 企業債	147,000,000	147,000,000	100.0	0	140,000,000	7,000,000
(1) 企業債	147,000,000	147,000,000	100.0	0	140,000,000	7,000,000
2. 出資金	13,900,000	13,900,000	100.0	0	13,900,000	0
(1) 出資金	13,900,000	13,900,000	100.0	0	13,900,000	0
合計	160,900,000	160,900,000	100.0	0	153,900,000	7,000,000

(資本的支出)

(単位：円・%)

(消費税込み)

科目	令和2年度				令和元年度	比較増減 (B-C)
	予算現額(A)	決算額(B)	執行率	比較増減 (A-B)	決算額(C)	
1. 建設改良費	672,471,000	637,085,079	94.7	35,385,921	424,448,527	212,636,552
(1) 水道施設整備費	551,047,400	527,284,357	95.7	23,763,043	314,811,662	212,472,695
(2) メーター設置費	119,426,000	108,293,942	90.7	11,132,058	105,026,315	3,267,627
(3) 固定資産購入費	1,997,600	1,506,780	75.4	490,820	4,610,550	△ 3,103,770
2. 企業債償還金	157,557,000	157,556,159	100.0	841	152,476,467	5,079,692
(1) 企業債償還金	157,557,000	157,556,159	100.0	841	152,476,467	5,079,692
3. 予備費	2,000,000	0	0.0	2,000,000	0	0
(1) 予備費	2,000,000	0	0.0	2,000,000	0	0
合計	832,028,000	794,641,238	95.5	37,386,762	576,924,994	217,716,244

■ 主な増減の要因 (予算対比)

1. 建設改良費	(予算比35,386千円)
(1) 水道施設整備費	基線跨線橋工事一部延期に伴う布設工事の減 (予算比21,600千円)
(2) メーター設置費	メーター購入等の減(予算比11,132千円)



② 損益計算書前年度比較表（税抜き）

（収 入）

（単位：円）

収益の部				
科 目	令和2年度	令和元年度	前年度比較増減	要 因
総収益（A）	1,566,379,844	1,547,783,815	18,596,029	
1. 営業収益	1,497,553,898	1,476,952,828	20,601,070	
（1）給水収益	1,363,046,677	1,357,806,758	5,239,919	家事用水道料金収入の増（有収水量の増）
（2）受託事業収益	51,563,220	50,506,580	1,056,640	
（3）その他営業収益	82,944,001	68,639,490	14,304,511	基線跨線橋工事補償費の皆増
2. 営業外収益	68,819,012	70,799,447	△ 1,980,435	
（1）受取利息及び配当金	216,097	357,781	△ 141,684	
（2）他会計負担金	2,560,000	2,216,000	344,000	
（3）長期前受金戻入	64,908,480	65,240,205	△ 331,725	
（4）雑収益	1,134,435	2,985,461	△ 1,851,026	メーター売却収益（△1,845千円）の皆減
3. 特別利益	6,934	31,540	△ 24,606	
（1）過年度損益修正益	6,934	31,540	△ 24,606	

## (支 出)

(単位：円)

費用の部				
科 目	令和2年度	令和元年度	前年度比較増減	要 因
総費用 (B)	1,397,805,892	1,411,876,692	△ 14,070,800	
1. 営業費用	1,368,197,727	1,377,998,133	△ 9,800,406	
(1) 受水費	677,966,274	678,535,336	△ 569,062	R1年度閏年による年間日数の減に伴う基本料金（基本水量×年間日数）の減少
(2) 配水及び給水費	101,015,173	105,862,895	△ 4,847,722	委託料（水道施設等維持管理委託業務）の皆増、漏水修繕工事修繕費の減少（△12,512千円）
(3) 受託工事費	11,070,000	10,570,000	500,000	
(4) 総係費	158,076,478	168,378,782	△ 10,302,304	委託料（水道ビジョン及び経営戦略改訂版策定支援委託業務）の皆減
(5) 減価償却費	383,726,970	383,169,313	557,657	償却資産の増
(6) 資産減耗費	36,342,832	31,481,807	4,861,025	除却資産の増
2. 営業外費用	29,009,860	33,187,795	△ 4,177,935	
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	28,530,116	33,187,795	△ 4,657,679	企業債償還額の減
(2) 雑支出	479,744	0	479,744	
3. 特別損失	598,305	690,764	△ 92,459	
(1) 過年度損益修正損	598,305	690,764	△ 92,459	漏水減免による還付減
当年度純利益 (A) - (B)	168,573,952	135,907,123	32,666,829	
前年度繰越利益剰余金	0	0	0	
その他未処分利益剰余金変動額	135,907,123	125,164,567	10,742,556	
当年度未処分利益剰余金	304,481,075	261,071,690	43,409,385	



# 3 令和2年度下水道事業決算状況（予算対比）

## 【収入支出の概要】

### ■収益的収支（3条）

（単位：千円）

	令和2年度予算(a)	令和2年度決算(b)	増減	増減率	令和元年度決算(c)	増減(b-c)
収益的収入(A) 税抜	2,719,104	2,638,699	△80,405	△3.0	2,633,694	5,005
(税込)	(2,861,504)	(2,754,887)	(△106,617)	(△3.7%)	(2,738,900)	(15,987)
収益的支出(B) 税抜	2,575,820	2,460,448	115,372	4.5%	2,533,693	△73,245
(税込)	(2,626,647)	(2,500,353)	(126,294)	(4.8%)	(2,582,130)	(△81,877)
純利益(A-B) 税抜	143,284	178,251	34,967	24.4%	100,001	78,250

### 主な増減理由（予算対比）(税抜き)

- ・収入 一般会計繰入金の減少（△61,449千円）  
    その他営業収益の減少（基線跨線橋工事による補償費の減）（△15,163千円）
- ・支出 運営管理費の減少（修繕費・動力費・委託料の減）（△73,260千円）

### ■資本的収支（4条）

（単位：千円、消費税込み）

	令和2年度予算(a)	令和2年度決算(b)	増減	増減率	令和元年度決算(c)	増減(b-c)
資本的収入(A)	1,939,255	1,535,984	△403,271	△20.8%	1,242,553	293,431
資本的支出(B)	2,881,618	2,461,874	419,744	14.6%	2,147,693	314,181
収支不足(A-B)	△942,363	△925,890	16,473	△1.7%	△905,140	△20,750

### 主な増減理由（予算対比）(税込み)

- ・収入 企業債借入の減少（処理場汚泥乾燥施設工事費縮小による）（△359,700千円 内、繰越等分330,393千円）
- ・支出 公共下水道整備費の執行残（西島松開発行為延期及び工事の繰越による）（△397,146千円 内、繰越等分281,093千円）

# 2 令和2年度下水道事業決算状況（主な概況）

## 令和2年度決算「繰入金・建設改良費」の特徴

1 令和2年度 一般会計繰入金（前年対比と主な増減） 776,976千円（前年比△39,349千円）

①公共下水道（743,154／前年比△42,062）				（千円）
営業収益	雨水処理負担金	549,907	（前年比＋ 3,516）	概ね横ばい
営業外収益	他会計補助金（基準外）	75,289	（前年比＋18,040）	分流式下水道等に要する経費（基準内繰入金）の皆減に伴う交付税措置相当分補助の増
	他会計負担金	12,040	（前年比△62,135）	汚水分維持管理費の減及び有収水量の増による分流式下水道等に要する経費の皆減
資本的収入	他会計出資金	105,918	（前年比△ 1,483）	臨時財政特例債元金償還金の減
②個別排水処理施設（33,822／前年比＋2,713）				（千円）
営業外収益	他会計負担金	30,205	（前年比＋ 2,423）	維持管理費の増
資本的収入	他会計出資金	3,617	（前年比＋ 290）	個別排水処理施設整備事業債（臨時分）元金償還金の増

2 令和2年度 下水道整備費 1,376,980千円（前年比＋361,001千円）

①管渠等整備工事							（千円）
	518,348 (R1:304,234)	分流化工事	(福住町・末広町・緑町)	汚水管	φ150-φ250	2,233.45m	366,542
		老朽化対策	(恵庭12号幹線)	汚水管	φ600	368.00m	61,886
(R1)		浸水対策	(和光町・福住町・末広町)	雨水管	φ250-φ1100	244.59m	59,143
分流化(汚水1,626.65m)		汚水整備	(和光町)	汚水管	φ200	113.67m	16,856
老朽化対策(雨水92.93m)		柵新設等		汚水柵		15基	13,921
②終末処理場委託工事							
	852,120 (R1:702,700)	(R1繰越) 乾燥施設建設工事委託に関する協定		2/3年目の内繰越分			80,000
		乾燥施設建設工事委託に関する協定		3/3年目			694,930
		(R1繰越) 耐震補強工事委託に関する協定		導水渠(可とう継手)繰越分			73,190
		耐震補強工事委託に関する協定		導水渠(可とう継手)現年分			4,000
③個別排水処理施設整備費							
	6,512 (R1:9,045)	個別排水処理施設設置工事その1		5人槽1基、7人槽1基、10人槽1基			6,512

3 令和2年度 下水道受贈財産 16,146千円

						（円）
ハイムタウン恵庭市桜町1丁目住宅地開発	移管元	北海道セキスイハイム株式会社	汚水管φ200 L=60.86m、雨水管φ250 L=66.72m			6,300,000
恵庭市大町1丁目開発	移管元	株式会社インペリアルガード	汚水管φ200 L=28.48m、雨水管φ250 L=36.81m			3,300,000
恵庭市戸磯南土地区画整理	移管元	戸磯南土地区画整理組合	土地(調整池) A=2571㎡			6,463,494
北海道文教大学付属高校開発	移管元	学校法人鶴岡学園	公共汚水柵1基			82,167

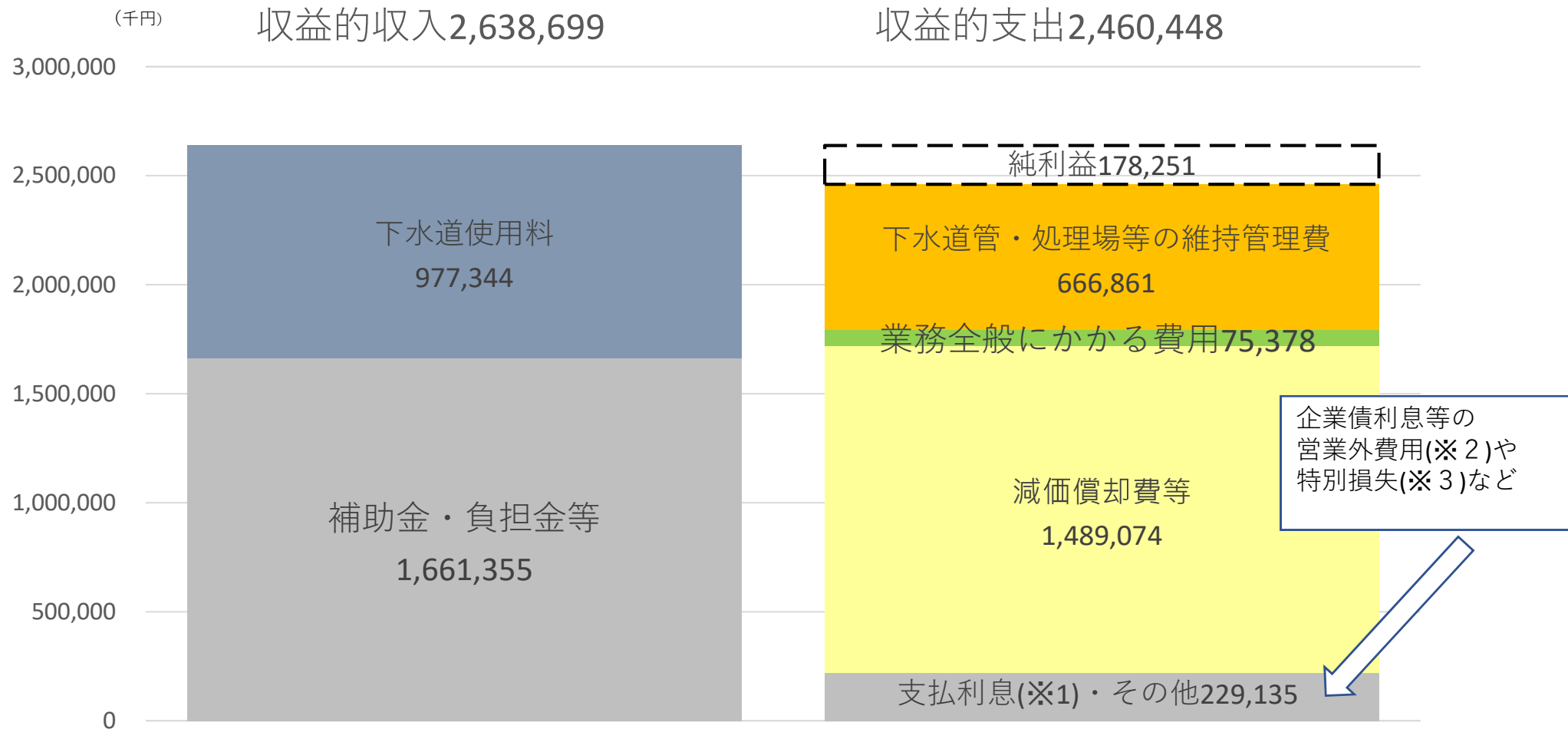
4 令和2年度 下水道整備費繰越工事 73,970千円

						（千円）
繰越工事	管渠整備事業(分流化)	73,970	補助金	22,000	企業債	46,800

## 2 令和2年度下水道事業決算状況（決算の姿）

参照：18～19ページ

### ■収益的収支（消費税抜き）



※1 支払利息：借入金（企業債）に対する利息

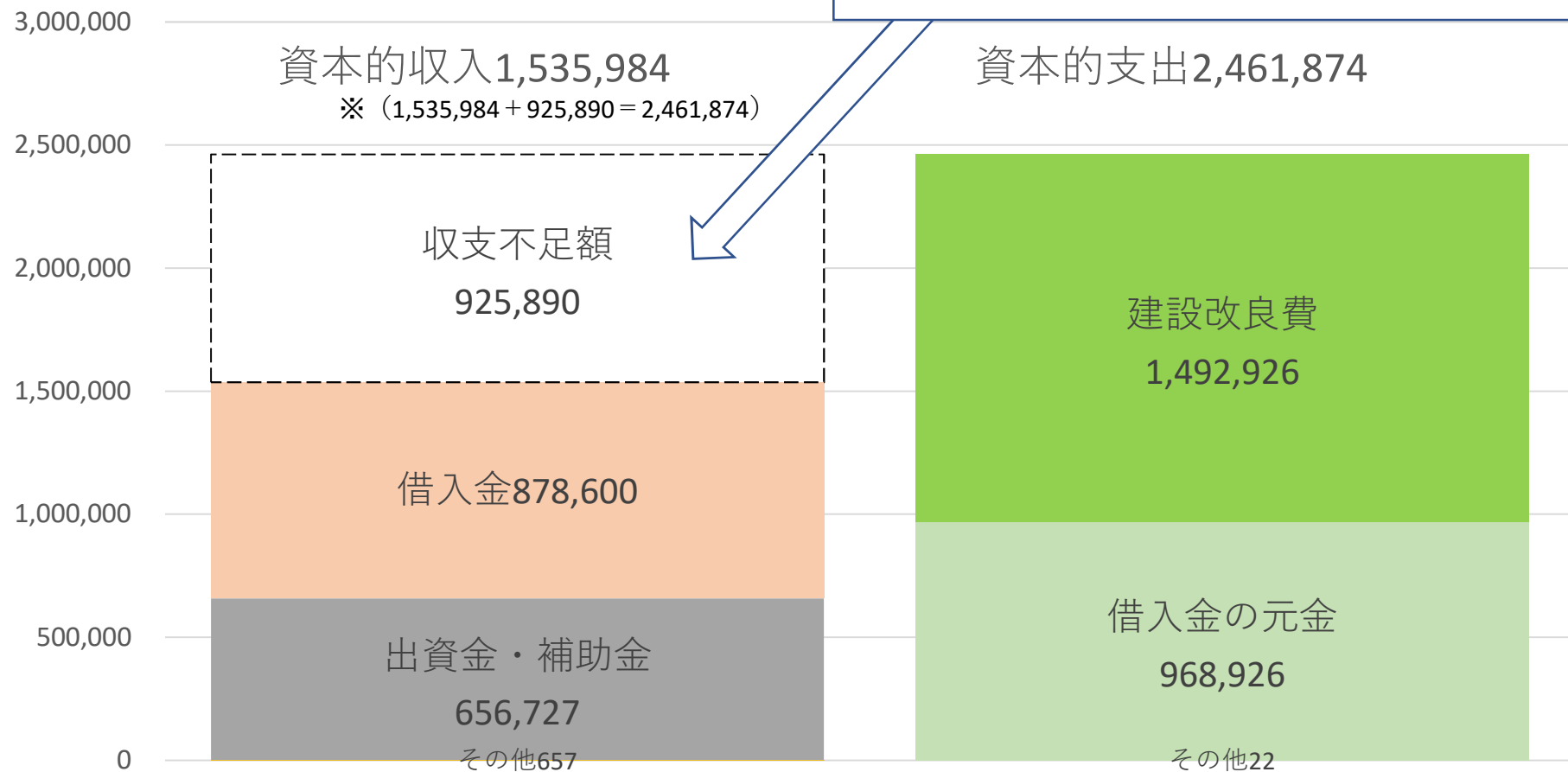
※2 営業外費用：下水道事業の主たる営業活動以外のから生じる費用

※3 特別損失：当期の費用に計上することが不適当な費用（臨時的な費用や過年度分の下水道使用料還付金など）

## 2 令和2年度下水道事業決算状況（決算の姿）

参照：17ページ

### ■資本的収支（消費税込み）



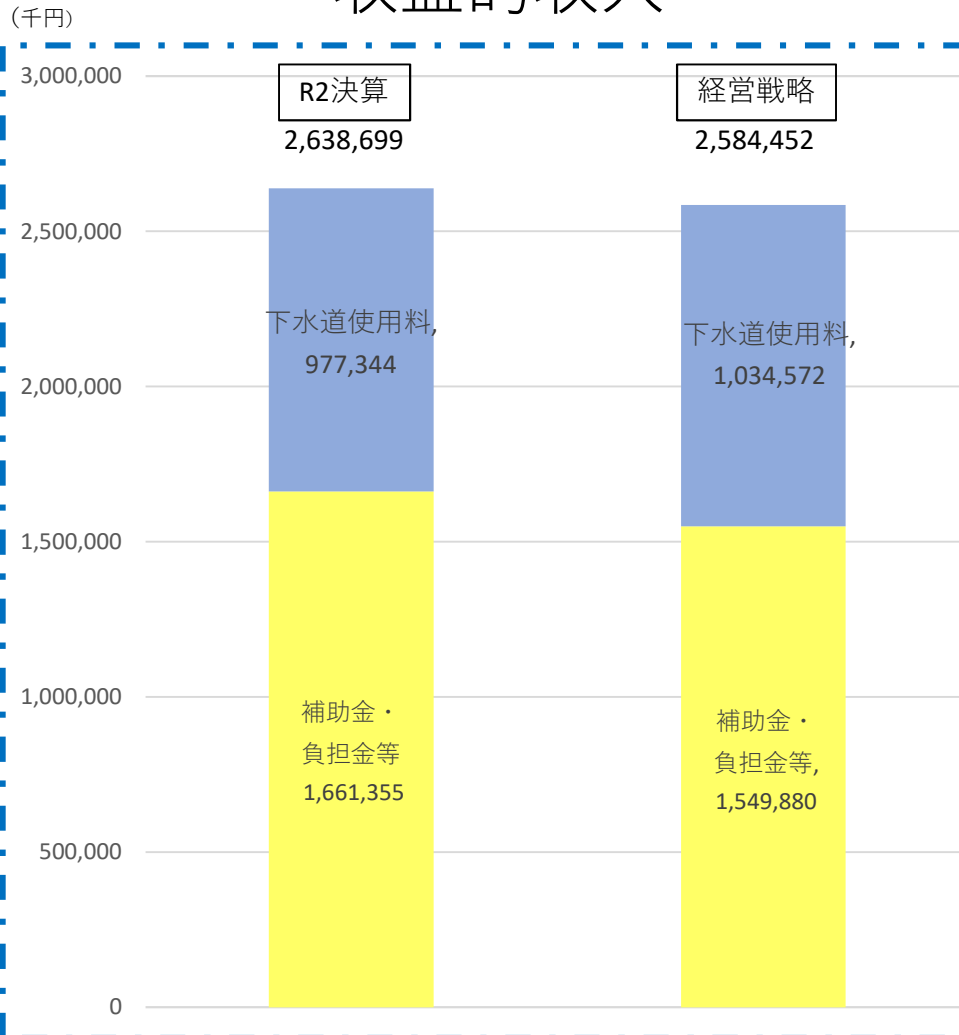
※出資金：一般会計又は他会計から特別に出資されたもの

# 2 令和2年度下水道事業決算状況（経営戦略対比）

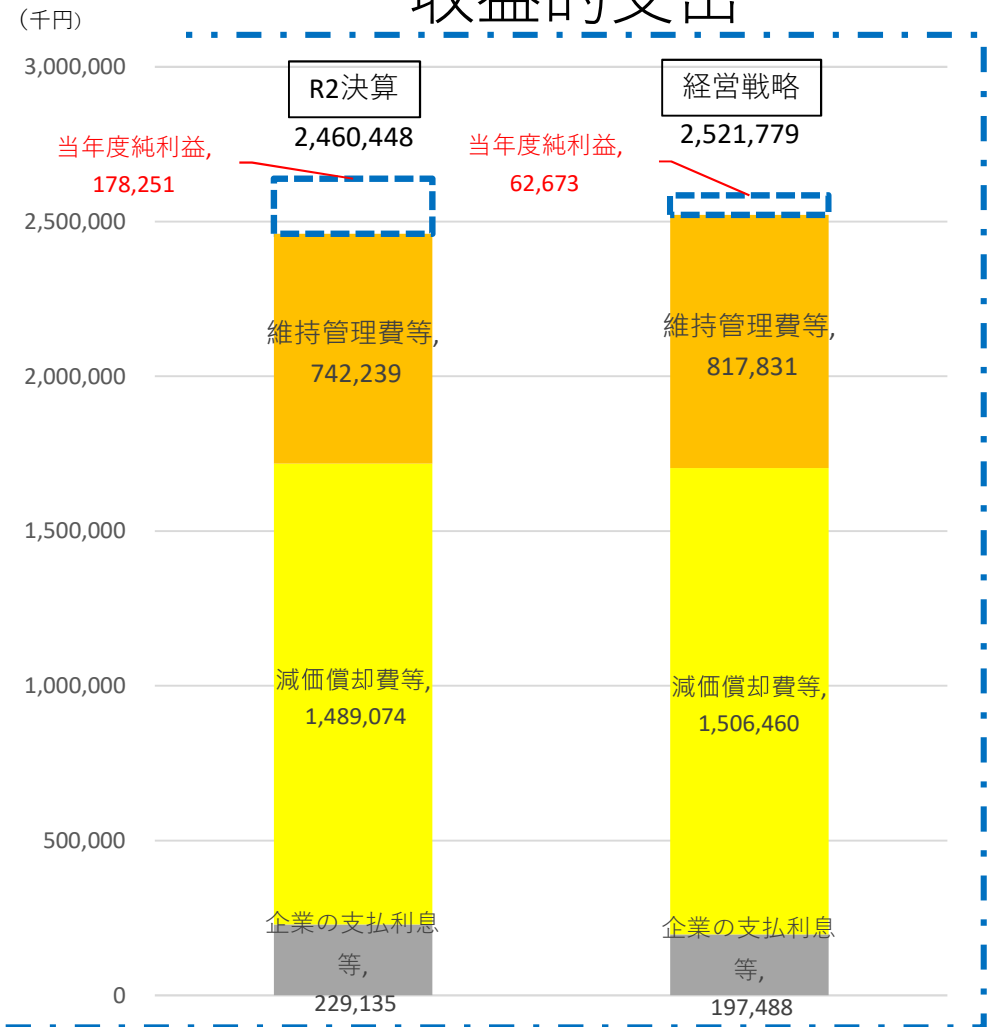
## ■収益的収支（3条）の推移（税抜き）

※予備費除く

### 収益的収入



### 収益的支出

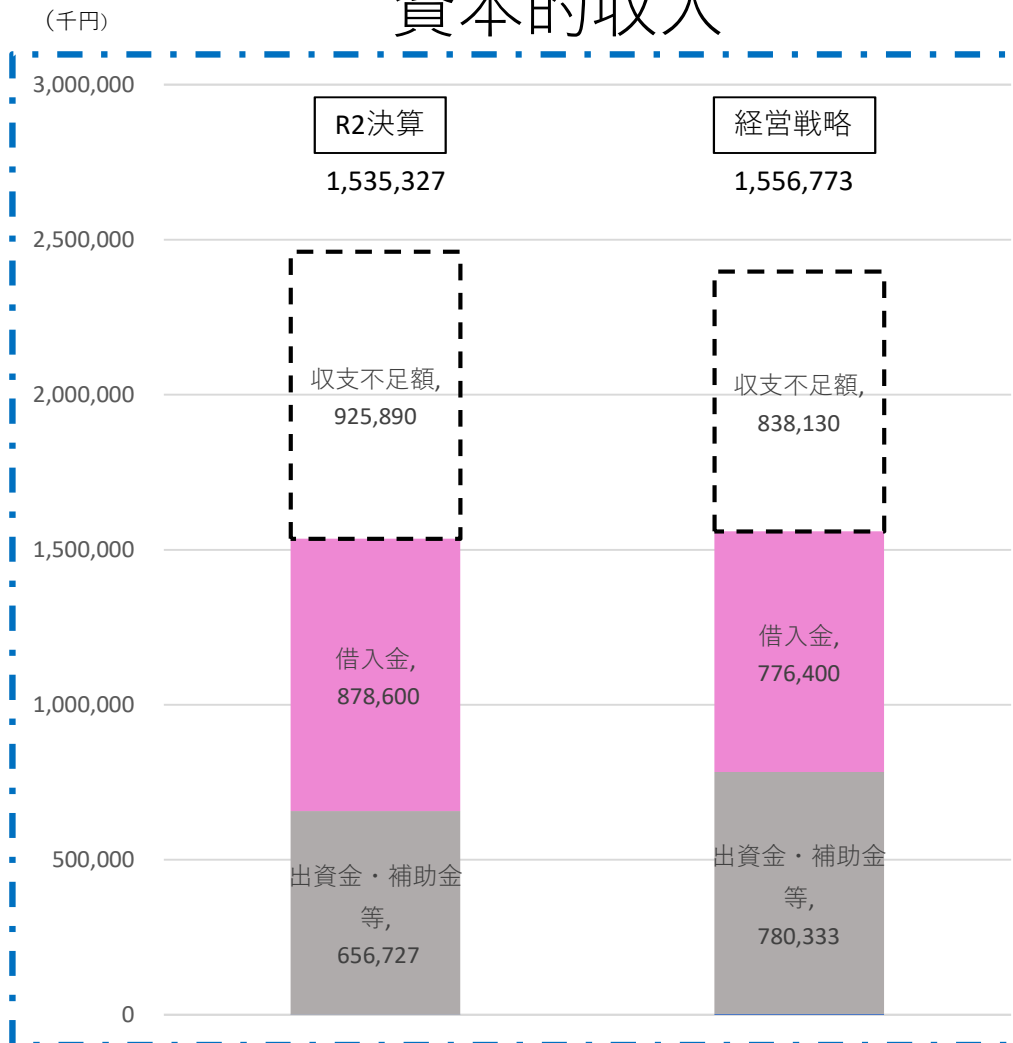




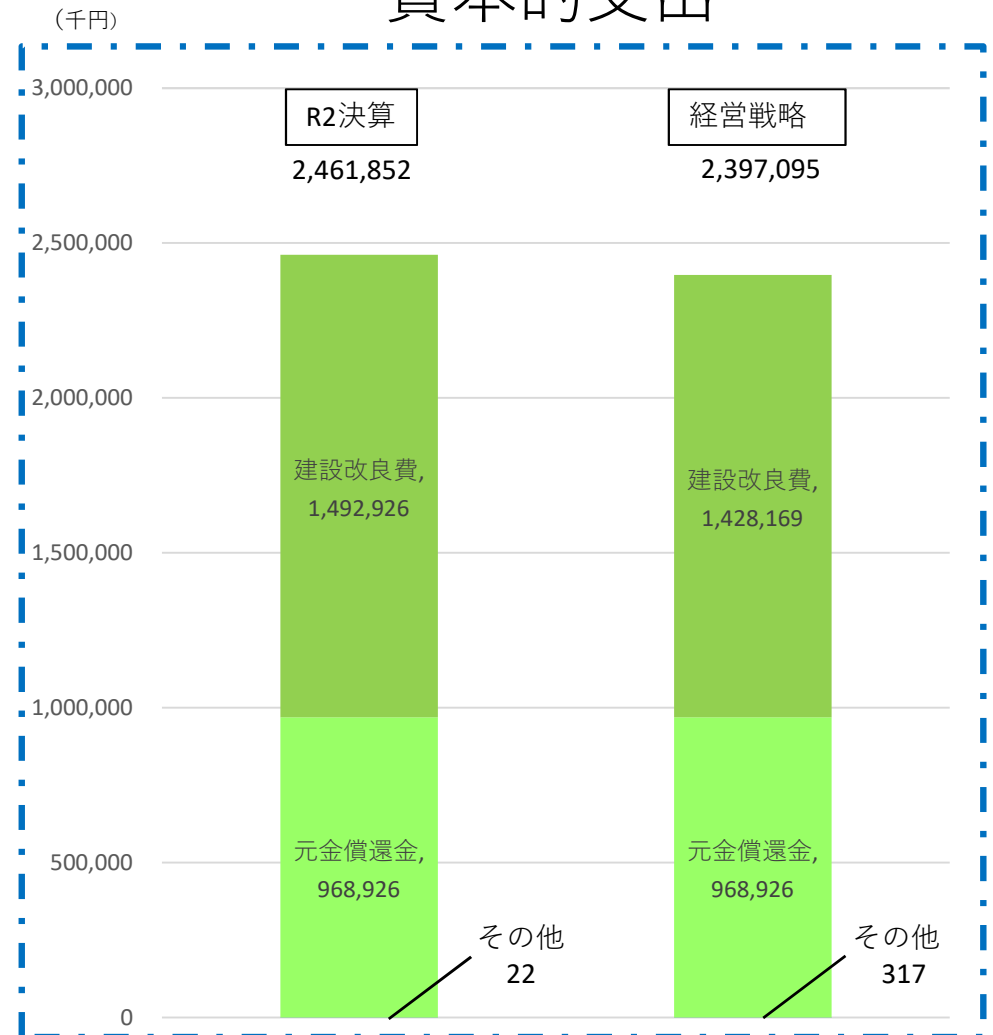
## 2 令和2年度下水道事業決算状況（経営戦略対比）

### ■ 資本的収支（4条）（税込み）

#### 資本的収入



#### 資本的支出



① 予算決算比較表（税込み）

1 収益的収支

一般会計繰入金

（収益的収入）

（単位：円・％）（消費税込み）

科目	令和2年度				令和元年度	比較増減 (B-C)
	予算現額(A)	決算額(B)	執行率	比較増減 (B-A)	決算額(C)	
1. 営業収益	1,776,702,000	1,731,499,759	97.5	△ 45,202,241	1,715,665,301	15,834,458
(1) 下水道使用料	1,067,448,000	1,075,016,443	100.7	7,568,443	1,103,678,268	△ 28,661,825
(2) 雨水処理負担金	574,651,000	549,907,311	95.7	△ 24,743,689	546,391,117	3,516,194
(3) 受託事業収益	77,205,000	64,247,700	83.2	△ 12,957,300	65,410,416	△ 1,162,716
(4) その他営業収益	57,398,000	42,328,305	73.7	△ 15,069,695	185,500	42,142,805
2. 営業外収益	1,084,792,000	1,022,829,961	94.3	△ 61,962,039	1,022,254,380	575,581
(1) 受取利息及び配当金	429,000	195,169	45.5	△ 233,831	610,898	△ 415,729
(2) 補助金	17,000,000	14,000,000	82.4	△ 3,000,000	27,350,000	△ 13,350,000
(3) 他会計補助金	11,255,000	75,288,567	668.9	64,033,567	57,248,956	18,039,611
(4) 他会計負担金	142,984,000	42,245,559	29.5	△ 100,738,441	101,957,561	△ 59,712,002
(5) 消費税及び地方消費税還付金	31,265,000	5,969,277	19.1	△ 25,295,723	13,739,413	△ 7,770,136
(6) 長期前受金戻入	803,784,000	796,910,037	99.1	△ 6,873,963	820,460,155	△ 23,550,118
(7) 雑収益	78,075,000	88,221,352	113	10,146,352	887,397	87,333,955
3. 特別利益	10,000	557,536	5575.4	547,536	980,259	△ 422,723
(1) 固定資産売却益	10,000	0	0.0	△ 10,000	0	0
(2) 過年度損益修正益	0	557,536	—	557,536	980,259	△ 422,723
合計	2,861,504,000	2,754,887,256	96.3	△ 106,616,744	2,738,899,940	15,987,316

（消費税込み）

■ 主な増減の要因（予算対比）	
1. 営業収益	（予算比△45,202千円）
(1) 下水道使用料	下水道使用料の増（家事用・予算比29,681千円、家事用外・予算比△22,269千円）（予算比7,568千円）
(2) 雨水処理負担金	一般会計繰入金（維持管理費人件費の減）（予算比△24,744千円）
(3) 受託事業収益	受託事業に係る委託料の減（予算比△12,957千円）
(4) その他営業収益	基線跨線橋工事に伴う移転補償費の減（予算比△15,163千円）
2. 営業外収益	（予算比△61,962千円）
(3) 他会計補助金	一般会計繰入金・基準外（維持管理費の減）（予算比64,034千円）
(4) 他会計負担金	一般会計繰入金・基準内（汚水処理に係る維持管理費の減）（予算比△100,738千円）
(5) 消費税及び地方消費税還付金	R3繰越工事費用等減の影響による減（予算比△25,296千円）
(7) 雑収益	バイオガス売却収益の増（予算比10,146千円）

(収益的支出)

(単位：円・%) (消費税込み)

科目	令和2年度				令和元年度	比較増減 (B-C)
	予算現額(A)	決算額(B)	執行率	比較増減 (A-B)	決算額(C)	
1. 営業費用	2,415,362,000	2,296,726,896	95.1	118,635,104	2,403,524,742	△ 106,797,846
(1) 管渠費	111,241,000	95,895,158	86.2	15,345,842	125,435,470	△ 29,540,312
(2) 処理場費	530,194,770	476,721,074	89.9	53,473,696	504,860,663	△ 28,139,589
(3) 個別排水処理費	31,430,238	28,184,249	89.7	3,245,989	23,204,246	4,980,003
(4) 水質規制費	4,994,000	3,061,377	61.3	1,932,623	2,802,100	259,277
(5) 水洗化促進費	4,718,521	4,622,665	98.0	95,856	4,430,406	192,259
(6) 生ごみ・し尿処理場維持管理受託費	72,784,000	61,189,125	84.1	11,594,875	61,735,159	△ 546,034
(7) 業務費	59,897,000	59,136,924	98.7	760,076	61,853,318	△ 2,716,394
(8) 総係費	93,863,709	78,831,126	84.0	15,032,583	96,040,347	△ 17,209,221
(9) 減価償却費	1,487,863,000	1,471,704,622	98.9	16,158,378	1,521,401,440	△ 49,696,818
(10) 資産減耗費	18,375,762	17,380,576	94.6	995,186	1,761,593	15,618,983
2. 営業外費用	208,275,000	203,328,000	97.6	4,947,000	178,135,964	25,192,036
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	162,612,076	157,998,204	97.2	4,613,872	172,101,214	△ 14,103,010
(3) 長期前払消費税等償却	8,010,000	7,686,872	96.0	323,128	6,034,750	1,652,122
(4) 雑支出	37,652,924	37,642,924	100.0	10,000	0	37,642,924
3. 特別損失	1,010,000	298,050	29.5	711,950	469,543	△ 171,493
(1) 固定資産売却損	10,000	0	0.0	10,000	0	0
(2) 過年度損益修正損	1,000,000	298,050	29.8	701,950	469,543	△ 171,493
4. 予備費	2,000,000	0	0.0	2,000,000	0	0
合計	2,626,647,000	2,500,352,946	95.2	126,294,054	2,582,130,249	△ 81,777,303

■主な増減の要因 (予算対比)	
1. 営業費用	(予算比 118,635千円)
(1) 管渠費	修繕費の残(予算比2,112千円) 委託料の残(下水道施設維持管理委託料の減)(予算比7,666千円)
(2) 処理場費	修繕費の残(予算比4,338千円)・動力費の残(予算比24,274千円) 委託料の残(処理場運転管理委託料の減)(予算比18,829千円)
(6) 生ごみ・し尿処理場維持管理受託費	手数料の残(予算比7,488千円)・委託料の残(処理場運転管理委託料の減)(予算比2,508千円)
(8) 総係費	委託料の残(予算比10,340千円) 人件費の残(予算比2,536千円)

2 資本的収支

(資本的収入)

(単位：円・%) (消費税込み)

科目	令和2年度				令和元年度	比較増減 (B-C)
	予算現額(A)	決算額(B)	執行率	比較増減 (B-A)	決算額(C)	
1. 企業債	1,238,300,000	878,600,000	71.0	△ 359,700,000	706,100,000	172,500,000
2. 補助金	587,593,000	547,193,000	93.1	△ 40,400,000	417,163,000	130,030,000
3. 他会計出資金	109,986,000	109,534,382	99.6	△ 451,618	110,728,038	△ 1,193,656
4. 負担金	711,000	0	0.0	△ 711,000	7,432,500	△ 7,432,500
5. 分担金	2,385,000	635,050	26.6	△ 1,749,950	1,067,580	△ 432,530
6. 水洗化貸付事業 収入	280,000	22,000	7.9	△ 258,000	62,000	△ 40,000
合計	1,939,255,000	1,535,984,432	79.2	△ 403,270,568	1,242,553,118	293,431,314

(資本的支出)

(単位：円・%) (消費税込み)

科目	令和2年度				令和元年度	比較増減 (B-C)
	予算現額(A)	決算額(B)	執行率	比較増減 (A-B)	決算額(C)	
1. 建設改良費	1,910,301,000	1,492,926,290	78.2	417,374,710	1,156,925,798	336,000,492
(1) 公共下水道整備費	1,879,771,000	1,482,624,658	78.9	397,146,342	1,144,245,680	338,378,978
(2) 個別排水処理施設整備費	23,859,000	6,392,238	26.8	17,466,762	9,045,300	△ 2,653,062
(3) 固定資産購入費	6,671,000	3,909,394	58.6	2,761,606	3,634,818	274,576
2. 企業債償還金	968,927,000	968,926,303	100.0	697	990,704,754	△ 21,778,451
3. 水洗化貸付事業費	280,000	22,000	7.9	258,000	62,000	△ 40,000
4. 返還金	110,000	0	0.0	110,000	0	0
5. 予備費	2,000,000	0	0.0	2,000,000	0	0
合計	2,881,618,000	2,461,874,593	85.4	419,743,407	2,147,692,552	314,182,041

■ 主な増減の要因 (予算対比)	
1. 資本的収入	(予算比△359,700千円)
(1) 企業債	R3繰越工事による借入減

■ 繰越予算	
204,010千円	企業債
50,393千円	補助金

■ 継続費	
32,490千円	企業債
43,500千円	補助金

■ 主な増減の要因 (予算対比)	
1. 資本的支出	(予算比419,703千円)
(1) 公共下水道整備費	委託料の残(開発行為延期による残) 工事請負費の残(繰越工事による残)
(2) 個排事業費	個別排水処理施設設置件数の減

■ 繰越予算 (委託費)	
73,190千円	恵庭下水処理場耐震補強工事委託

■ 繰越予算 (工事)	
64,053千円	相生・緑町地区管渠布設工事
73,964千円	福住・末広地区管渠布設工事
61,886千円	恵庭12号幹線管渠更生工事

■ 継続費 (委託費)	
80,000千円	恵庭市下水終末処理場乾燥施設建設工事委託

## ② 損益計算書前年度比較表（税抜き）

（収 入）

（単位：円）

収益の部				
科 目	令和2年度	令和元年度	前年比較増減	要 因
総収益（A）	2,638,699,088	2,633,694,071	5,005,017	
1. 営業収益	1,627,986,485	1,622,964,140	5,022,345	
（1）下水道使用料	977,343,869	1,016,754,973	△ 39,411,104	下水道使用料収入の減（家事用外使用料の減）
（2）雨水処理負担金	549,907,311	546,391,117	3,516,194	雨水処理に要する資本費の増加
（3）受託事業収益	58,407,000	59,632,550	△ 1,225,550	
（4）その他営業収益	42,328,305	185,500	42,142,805	基線跨線橋架替工事補償費の皆増
2. 営業外収益	1,010,198,762	1,009,796,247	402,515	
（1）受取利息及び配当金	195,169	610,898	△ 415,729	
（2）補助金	14,000,000	27,350,000	△ 13,350,000	国庫補助金の減
（3）他会計補助金	75,288,567	57,248,956	18,039,611	繰入金・基準外（雨水事業）の増、行政施策に係る一般会計負担の増
（4）他会計負担金	42,245,559	101,957,561	△ 59,712,002	繰入金・基準内（分流適正化負担金）の減
（5）長期前受金戻入	796,910,037	820,460,155	△ 23,550,118	国庫補助金戻入の減
（6）雑収益	81,559,430	2,168,677	79,390,753	バイオガス売却収益の皆増
3. 特別利益	513,841	933,684	△ 419,843	
（1）過年度損益修正益	513,841	933,684	△ 419,843	

(支 出)

(単位:円)

費用の部				
科 目	令和2年度	令和元年度	前年比較増減	要 因
総費用 (B)	2,460,447,967	2,533,693,019	△ 73,245,052	
1. 営業費用	2,231,312,926	2,335,938,171	△ 104,625,245	
(1) 管渠費	88,278,489	116,076,659	△ 27,798,170	委託料の減
(2) 処理場費	434,563,586	462,191,655	△ 27,628,069	修繕費・委託料・動力費の減
(3) 個別排水処理費	25,844,238	21,454,678	4,389,560	
(4) 水質規制費	2,783,070	2,585,000	198,070	
(5) 水洗化促進費	4,622,417	4,429,335	193,082	
(6) 生ごみし尿処理場維持管理受託費	55,626,494	56,798,576	△ 1,172,082	委託料の減
(7) 業務費	55,142,952	57,906,760	△ 2,763,808	他会計負担金の減
(8) 総係費	75,377,369	91,391,175	△ 16,013,806	委託料の減
(9) 減価償却費	1,471,704,622	1,521,401,440	△ 49,696,818	償却資産の減
(10) 資産減耗費	17,369,689	1,702,893	15,666,796	除却資産の増
2. 営業外費用	228,836,991	197,285,305	31,551,686	
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	157,998,204	172,101,214	△ 14,103,010	企業債利息の減
(2) 長期前払消費税等償却	7,686,872	6,034,750	1,652,122	
(3) 雑支出	63,151,915	19,149,341	44,002,574	バイオガス売却益配当金の皆増
3. 特別損失	298,050	469,543	△ 171,493	
(1) 過年度損益修正損	298,050	469,543	△ 171,493	
当年度純利益 (A) - (B)	178,251,121	100,001,052	78,250,069	
その他未処分利益剰余金変動額	100,001,052	157,363,632	△ 57,362,580	
当年度未処分利益剰余金	278,252,173	257,364,684	20,887,489	

(消費税抜き)